



第74期 業務報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日



かながわ信用金庫



ごあいさつ



平素より、かながわ信用金庫に格別なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、経済活動の正常化が急速に進むなか、物価の上昇や円安の進行など、国民生活を取り巻く環境が大きく変化した1年となりました。当金庫の営業地域におきましても、少子高齢化のさらなる進展に加え、資源高や人手不足など、先行き不透明な状況が続いています。このような情勢のなか、当金庫は、「よろず相談承り信用金庫」として、アフターコロナ時代の環境変化を踏まえた本業支援・経営改善支援に取り組みました。資金繰りのお手伝いだけでなく、販路拡大や人材確保などの課題解決に向けたサポートのほか、経営支援セミナー「かなしん大学」の開催や、三浦半島地域活性化協議会の活動として実践型創業塾を開催するなど、お客さまとのコミュニケーションを大切にされた様々な取組みを実施しました。また、学費自動振替口座の積極的な取扱いに加え、資産形成に役立てて頂くための学業支援定期積金「さくら積金」の販売を開始するなど、より多くのお客さまのお役に立てるよう努めてまいりました。

この結果、令和5年度の当金庫の貸出金は6,704億円、預金積金は1兆3,690億円、当期純利益は14億円を計上し、72期連続での黒字決算となりました。また、健全性の指標である自己資本比率は7.14%となり、国内基準の4%を3.14ポイント上回る結果となりました。

当金庫は、かながわ信用金庫に名称変更をして満10年の節目を迎えることができました。これもひとえに、地域の皆さまからの温かいご支援の賜物であると心より感謝申し上げます。引続き、「強くてやさしい信用金庫」として、役職員一丸となって地域の皆さまと伴走してまいります。今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年6月

理事長 平松 廣司



かなしん よろず相談承り処について

【かなしん よろず相談承り処】では、地域の皆さまからの様々なご相談を承ります。まずは、お気軽にご相談ください。



❖ 平日、土・日曜日や祝日も10時から19時まで、オープンしています。

平日、土・日曜日および祝日も19時まで、住宅ローンやカードローン、マイカーローンなど各種ローンのご相談や外部専門家等と連携して相続、年金、資産運用、創業や事業承継など幅広いご相談を承ります。昼間はお忙しい方も、夕方や休日にご相談いただけます(12/31～1/3は除きます。)

❖ 外部専門家による無料個別相談を開催しています(事前予約制)。

税理士や司法書士による個別相談を定期的に開催しています。お客さまのプライバシーに配慮した専用ブースをご用意していますので、安心してご相談ください。

内 容	開催日*	時 間*
税務相談会	第1水曜日	10:00～16:00
経営相談会	第2水曜日	10:00～16:00
相続相談会	第3水曜日	10:00～12:00
事業相談会	第2土曜日	10:30～19:00
栄養サポート相談会	第4水曜日	10:00～12:30

※都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。

各種ご相談・無料相談会のお申込み

お 電 話

Web(当金庫ホームページ)

営 業 日	年中無休*
営業時間	10:00～19:00
T E L	0120-046801

お申込みは
こちらから



※12/31～1/3を除く

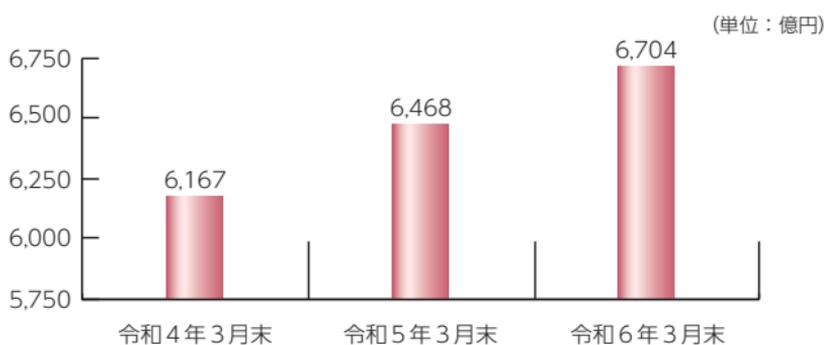


業績について

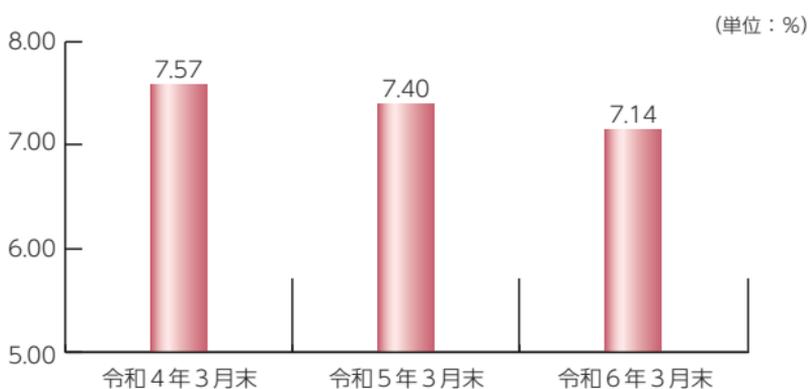
❖ 預金・積金残高の推移



❖ 貸出金残高の推移



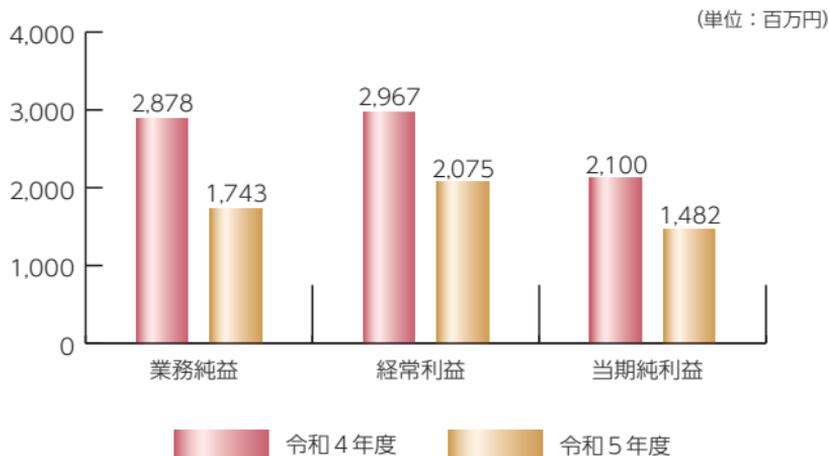
❖ 自己資本比率の推移



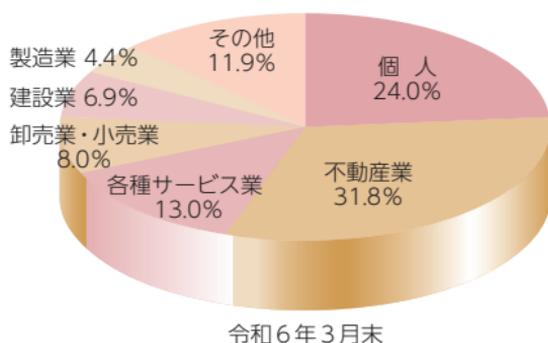
(単位：百万円、%)

項目		令和4年 3月末	令和5年 3月末	令和6年 3月末
自己資本総額	(A)	36,672	38,358	39,437
リスクアセット等計	(B)	484,132	517,747	552,254
自己資本比率	(A) ÷ (B)	7.57	7.40	7.14

❖ 利益の状況



❖ 業種別貸出金残高の構成



❖ 不良債権の状況

(単位：百万円、%)

破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,212
危険債権	16,509
要管理債権	1,969
不良債権合計 (A)	20,692
担保・保証による保全額	13,512
個別貸倒引当金	1,792
一般貸倒引当金	11
保全額 (B)	15,316
実質不良債権額 (A) - (B)	5,375
総与信額 (C)	672,323
不良債権比率 (A) / (C)	3.07
保全率 (B) / (A)	74.02

(注) 本誌に記載の比率、金額は原則として単位未満を切り捨てて表示しています。



貸借対照表 (令和6年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金	11,007,971	預金積金	1,369,062,747
預け金	446,341,009	当座預金	28,208,551
買入金銭債権	11,934	普通預金	750,048,415
商品有価証券	2,939	貯蓄預金	4,158,499
商品地方債	2,939	通知預金	12,466,076
有価証券	244,879,767	定期預金	541,284,079
国債	20,204,940	定期積金	26,907,581
地方債	97,805,684	その他の預金	5,989,545
社債	15,568,128	借入金	1,908,170
株式	4,470,102	借入金	1,908,170
その他の証券	106,830,912	その他負債	5,152,486
貸出金	670,434,989	未決済為替借	819,616
割引手形	1,338,951	未払費用	1,123,942
手形貸付	34,516,541	給付補填備金	11,318
証書貸付	623,922,160	未払法人税等	313,754
当座貸越	10,657,336	前受収益	430,476
外国為替	38,730	払戻未済金	87,530
外国他店預け	38,730	払戻未済持分	6,125
その他資産	9,195,407	職員預り金	1,454,231
未決済為替貸	743,966	リース債務	359,299
信金中金出資金	5,860,200	資産除去債務	146,692
前払費用	73,536	その他の負債	399,500
未収収益	1,614,900	賞与引当金	428,351
金融派生商品	13,820	役員退職慰労引当金	178,990
その他の資産	888,982	睡眠預金払戻損失引当金	112,414
有形固定資産	14,040,206	偶発損失引当金	151,813
建物	2,816,729	債務保証	1,528,611
土地	10,110,509	負債の部合計	1,378,523,584
リース資産	359,299	(純資産の部)	
建設仮勘定	415	出資金	4,674,381
その他の有形固定資産	753,252	普通出資金	4,674,381
無形固定資産	453,650	利益剰余金	35,340,702
ソフトウェア	174,086	利益準備金	4,760,216
その他の無形固定資産	279,563	その他利益剰余金	30,580,486
前払年金費用	627,505	特別積立金	28,309,500
繰延税金資産	6,535,304	当期末処分剰余金	2,270,986
債務保証見返	1,528,611	処分未済持分	△ 29,960
貸倒引当金	△ 2,167,031	会員勘定合計	39,985,123
(うち個別貸倒引当金)	(△ 1,792,757)	その他有価証券評価差額金	△ 15,577,711
		評価・換算差額等合計	△ 15,577,711
		純資産の部合計	24,407,411
資産の部合計	1,402,930,996	負債及び純資産の部合計	1,402,930,996



損益計算書 (令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
経 常 収 益	15,729,077	特 別 利 益	109
資金運用収益	13,105,744	固定資産処分益	109
貸出金利息	8,835,672	特 別 損 失	22,684
預け金利息	1,632,408	固定資産処分損	22,684
コールローン利息	838	税引前当期純利益	2,052,641
有価証券利息配当金	2,537,874	法人税、住民税及び事業税	502,099
その他の受入利息	98,950	法人税等調整額	68,230
役務取引等収益	1,337,562	法人税等合計	570,329
受入為替手数料	725,635	当 期 純 利 益	1,482,311
その他の役務収益	611,927	繰越金(当期首残高)	788,674
その他業務収益	627,788	当期末処分剰余金	2,270,986
外国為替売買益	17,261		
商品有価証券売買益	119		
国債等債券売却益	364,523		
その他の業務収益	245,883		
その他経常収益	657,982		
償却債権取立益	9,755		
株式等売却益	628,841		
その他の経常収益	19,386		
経 常 費 用	13,653,861		
資金調達費用	723,383		
預金利息	664,812		
給付補填備金繰入額	7,376		
借用金利息	43,726		
その他の支払利息	7,468		
役務取引等費用	748,340		
支払為替手数料	159,304		
その他の役務費用	589,036		
その他業務費用	2,449,011		
国債等債券売却損	2,413,751		
金融派生商品費用	29,927		
その他の業務費用	5,332		
経 費	9,445,058		
人 件 費	6,024,561		
物 件 費	3,037,504		
税 金	382,993		
その他経常費用	288,066		
貸倒引当金繰入額	4,034		
貸出金償却	126,380		
その他資産償却	2,992		
その他の経常費用	154,659		
経 常 利 益	2,075,216		



第74期 剰余金処分計算書

(単位：円)

当期末処分剰余金 2,270,986,641

計 2,270,986,641

これを次のとおり処分いたします。

普通出資に対する配当金（3%） 140,169,168

特別積立金 1,300,000,000

計 1,440,169,168

繰越金（当期末残高） 830,817,473



役員 (令和6年3月31日現在)

理事長	平松 廣司	理事	深野 三代治
専務理事	杵 渕 哲也	理事	高橋 隆一
常務理事	高瀬 清孝	理事	堀 一久
常務理事	片岡 祐二	常勤監事	田辺 有紀
常務理事	井上 忍一	監事	規矩 大義
常務理事	鈴木 隆一	員外監事	前川 晶夫
常勤理事	寺田 早苗	監事	吉成 邦夫
常勤理事	松浦 功人		
常勤理事	吉原 雅史		
常勤理事	平野 高史		
常勤理事	高橋 武		



総務事項

■ 総代会

令和5年6月22日に開催された第73期通常総代会において次の議案が決議され、原案のとおり承認されました。

❖ 決議事項

第1号議案 剰余金処分案承認の件

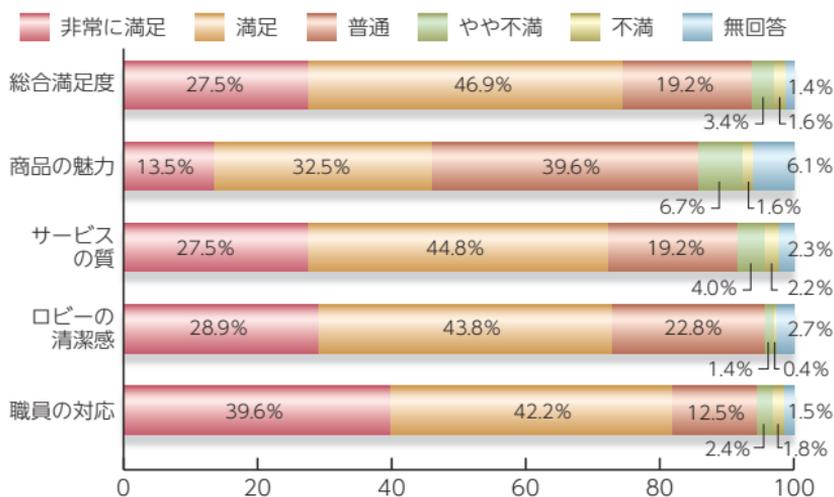
第2号議案 会員の法定脱退（除名）承認の件

第3号議案 理事選任の件

《お願い》 お届けの住所または居所等に変更が生じた際には、当金庫までご連絡ください。ご連絡がないことによって当金庫がお客さま（会員）に発信した通知が到達せず、5年間連続して返送された場合には、以後の通知は行わないことがありますのでご了承ください。

アンケート結果

昨年度、会員の皆さまにご協力いただきましたアンケート調査の結果は以下のとおりとなりました。今後の経営に活用させていただきます。



○調査対象先 当金庫会員の皆さま

○回答数 496先

かなしんSDGs基本方針

当金庫では、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の理念に賛同し、令和2年7月1日に「かなしんSDGs宣言」を行い、社会・経済・環境を重要なテーマとした「かなしんSDGs基本方針」のもと、SDGsを事業活動に取り入れています。

かなしんSDGs基本方針

- 【社 会】** さまざまな地域貢献活動や多様なステークホルダーとの連携を通じて、地域の持続的な発展を目指します。
- 【経 済】** 金融を通じて地域の課題解決に貢献し、地域と伴走して経済の持続的な発展を目指します。
- 【環 境】** いつまでも安心して暮らせる地域環境を守り続けていくため、積極的に環境保全に取り組むとともに、当金庫事業の環境負荷低減を目指します。

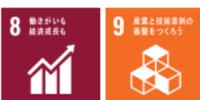
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsへの取組み

❖お客さま向け経営セミナー「かなしん大学」を開催

令和5年6月より、参加者同士の交流を図りながら、経営に関する知識を学ぶことを目的として「かなしん大学」を開催しています。外部専門家を招き、グループディスカッションやワークショップを中心に、経営戦略や人事労務などのさまざまなテーマで実施しています。



❖三浦半島地域活性化協議会の取組み

令和5年より実施している「三浦半島地域実践型創業塾」が、産官学金言で構成された本協議会の資源を有効活用していると評価され、「第14回地域再生大賞」にて優秀賞を受賞しました。



※地域再生大賞…地方新聞やNHK、共同通信社が主催する地域活性化等の優れた活動を表彰する取組み



❖「フードドライブ活動」の実施

6月15日の『信用金庫の日』における活動の一環として、家庭などで活用されていない食品を持ち寄り、フードバンクを通じて子ども食堂等、食の支援が必要な方に届ける「フードドライブ」活動を実施しました。



❖金融経済教育の実施

平成19年より、地元の小学校・特別支援学校などの子どもたちへ、お金の大切さや使い方を教える金融経済教育を実施しています。令和5年度は岩戸支援学校など計18回開催しました。当金庫では、より良い社会づくりに向けて、引き続き金融経済教育を行ってまいります。





令和5年度のあゆみ

《 令和5年 》

- 4月 日本政策金融公庫と「事業承継支援に関する覚書」を締結
- 5月 NTT東日本等との共催により「インボイス制度・電子帳簿保存法習熟セミナー」をオンライン開催
- 6月 『信用金庫の日』活動の一環として「フードドライブ」活動を実施
お客さま向け経営セミナー「かなしん大学」を開催
- 7月 ポリテクセンター関東との共催により「人材育成セミナー」を開催
- 8月 「第38回遊行寺薪能」を開催
- 10月 「経済講演会」を開催
山元町支店を移転オープン
- 11月 神奈川県宅地建物取引業協会と「業務連携・協力に関する覚書」を締結
- 12月 神奈川県警察と「犯罪収益の移転防止対策に関する協定」を締結

《 令和6年 》

- 1月 学業支援定期積金「さくら積金」の取扱開始
- 2月 逗子支店を仮店舗にて移転オープン
三浦半島地域活性化協議会において「第2回三浦半島地域実践型創業塾」を開催

《 TOPIC 》

❖「かなしんデジタル観光サイト」対象エリア拡大

観光による地域活性化を目的に開設した「かなしんデジタル観光サイト」は横須賀市のみだった掲載施設の対象エリアを三浦市、逗子市、葉山町、鎌倉市、横浜市、川崎市、藤沢市、綾瀬市、茅ヶ崎市に拡大しました。また、掲載施設を巡る1泊2日の旅行をイメージしたプロモーション動画『かなしんデジタル観光サイト・スペシャルムービー』をホームページで公開しています。実際に旅をしている感覚で横須賀の魅力をお楽しみいただける内容となっておりますので、ぜひご覧ください。



かなしんデジタル観光サイト

<https://kanashin-digital.com/>

かなしんデジタル観光サイト・スペシャルムービー

https://kanashin-digital.com/pr_movie_01/